

倉岳山山行報告（2019年4月28日（日））

参加者（3名）： 伊藤（L）、天野、中島

行程： 9：10 鳥沢駅集合（和菓子屋訪問）9：30－10：10 貯水池 15－10：40 石仏 45－11：38 穴路峠 45－12：10 倉岳山（990m）昼食 12：50－13：17 立野峠－14：30 車道－14：50 梁川駅 14：58＝15：50 八王子（反省会）17：50 解散

夏山トレーニング山行の第2弾は「倉岳山」とした。この山は中央線沿線の鳥沢駅から直接登れる手軽な山であり、歩行時間も4時間程度とトレーニングにも丁度良い。

本日は9時に鳥沢駅集合の予定であったが、中央線に事故があり全員15分くらい遅れた。駅前の和菓子屋に寄り道して、9時30分に出発。まずは国道20号を東京方面に少し進み右折、中央線を横切る小さなトンネルをくぐる。要所にある標識を頼りに桂川を渡って人家の間の道を山に入っていく、10時10分に分貯水池に着いた。

ここから沢沿いの道を30分ほど行くと石仏がある分岐に出た。右手に行くと高畑山なのだが、本日はまっすぐ沢沿いに登るコースを選ぶ。今までも人は少なかったが、このコースは全く人がいない。聞こえるのは沢の水音と小鳥のさえずりだけである。きれいな沢の流れと新緑が木漏れ日に映えて気持ちが良い。やがて沢から離れて倉岳山の山腹を巻くように登って行き、紫色のミツバツツジが顔を見せ出すと11時38分に穴路峠に到着した、

峠は十字路になっていて噴き上げてくる風が気持ち良いが、しばらくすると寒くなって来る。明るい尾根道を行き何個かコブを越すと山頂直下の急傾斜となる。苦労してこの斜面を登りきるとなだらかな尾根となり、12時10分倉岳山（990m）に到着した。

山頂は広くなっていて、20人以上の人が休んでいる。待望の富士山が雲ひとつ無く真っ白な姿をはっきりと見せている。さすがは秀麗富岳12景の名に恥じない見晴らしである。写真を撮った後、富士山を見ながらお昼にする。食べている間にも登って来る人、下山する人にとぎやかである。反対側の北側には大菩薩方面の山々や甲斐駒の頭も見えていた。

お腹がいっぱいになったし展望も堪能したので、12時50分に下山する。東側に進みかなり急な斜面を一気に下り13時17分には立野峠に着いた。ここからは展望の無い薄暗い植林帯の中急斜面を一気に下り15分くらいで水場（涸れていた）に着く。あとは新緑の気持ちよい静かな沢沿いの道を楽しく下り14時30分車道に出た。

ここまで来れば駅は近い。車道を下り梁川駅手前にある桂川を渡ると川の両岸は新緑で埋め尽くされている。14時50分に梁川駅に着くと、タイミングよく14時58分の列車が来た。15時50分ごろ八王子駅に着いて反省会を楽しみ、17時50分解散した。

今日はお天気が良く、新緑と富士山が素晴らしい山行であった。また、連休中の快晴の日にしては静かな山であった。トレーニングもちょうど良いコースであったし、今後もしっかりトレーニングを積んで、夏の北アルプス山行に備えたい。

（伊藤）